日本国際林大臣の古明に図

シロロログラのでは の知) の知) の知) の記一語定性(信和

>同協定の第一議定は(無償>同協定の合意計算

通関係 ◆在日韓国人の法的地位・ほ 国政府の借款契約

日韓取決め関係文書

クロ語の記述 クロ語の名の記述が3

【サイゴン二十二日流リアーニー は 共同】サイゴンの米ボスポークス 共同】サイゴンの米ボスポークス は 共同】サイゴンの米ボスポークス

る標四本を爆撃したほかキャンベ

両省の軍隊と人民は二十一日米綴べトナムのクアンピン、ハティン

多数に担切を与え

大阪 広島 福岡 副陽

題の新刊

間

ع

1

ル

力

は内容。 定価二八〇円 可能性を追求した、奇技 ではないないの交信の

力

週刊文容・

売で激賞!

猛獣カメラマン三十年の記録!

サ

IJ

学研 東京大田区上池上264

型一時小雨 風時々間 風一時雨 間後悪明け方霧 風時々雨

きのうも一機で放送

【RP=東京】二十二日のデ

BSが型ギャンベラ機とA・型スカー

白回以上

必要のために百回以上出発した 必要のために百回以上出発した

二十 | 日夜から 朝へも八回北爆

また二機撃墜

北ベトナム発表

経済協力関係

条2の合同委員会

送が同日午前のハノイでの発表【RP=東京】二十二日の北京

日本国と大畝民国の協定、文化財および文化協力に関

の原則に基づく両国間の関係の正し、一等際関係及び主柄の相互政型と、一等関係及び主柄の相互政型と、一等関係の歴史的背景・一年の関係の歴史的背景・一年の原則に基づく両側の関係の歴史を表現して、

益の労進のため並びに国際の平和一両国の相互の福祉及び共通の利

が新部長官 李 東 元 村の全和大使 金 東 神 村の全和大良は、互いにそ 村の全和大良は、互いにそ 中のの全和大良は、互いにそ

、友好的な抗硬の上に置くため、他の通路の関係を安定した、か阿統約国は、その貿易、海連で

日本国と大韓民国との間の基本関係に

中国

へ示威ねらう。

進めたものという

・ション (段階的拡大)を一歩米国がベトナム戦争のエスカ

放戦級(ベトコン)の雨知攻勢がれたように、南ベトナムで民族解れたように、南ベトナムで民族解れたように、南ベトナムで民族解れたように、南ベトナムで民族解れたように、南北の場路は、先ころ

されない。雨のやなま

対英 照和

0

名

言

集點。

して味わい深く、英語の実力を倍加する、これとそは現「平和」「幸福」「政治」「愛情」「受問」等十一章に「平和」「幸福」「受問」等十一章に「中華」

惡節% 原書房 哥哥\$\$\$\$\$\$\$\$

• 荒井良雄共編

文藝春秋新社

えて綴った住生活の意欲的な回顧と展望を一次〇葉に及ぶ精致なカットと設計図を加た〇葉に及ぶ精致なカットと設計図を加京大建築科教授で日本の住宅問題の権威

山

夘三

0

記

图入

九五O円

かん で で 他名位 記

水曜日

28545号

本側や植巻員として地名称和、高杉目歌会議首席代表と範囲側李恵元(イ・ドンウォン)外務部長官、金東神(キム・ドンジョ)首席代表が第名、劉 印した。との結正は、「十一百年後五時から首和官職でおしなわれ、佐藤宣和安会にの多とに自

7後の解決にゆどねられた多くの課題や日韓両国間の「心」の周期をはらみながらも、との日から新しい時代にはいる。佐藤首相はとくに首相談話を落表した。

在日韓国人の法的地位、文化財の四協定と、ほか

柔約、日雄漁業協定、 間求和・経 ・ 器名、 調田にはいり、 日韓基本

4・7・8・9・10・14・15回に

税五時から首相官邸で聞かれ日顧交渉の調目式は、二十二日

る膨大なもので、とれとは別に ・一般に、口上背四の計二十七件に上

定四、議定当二、交換公文九、

外経済協力活金と韓国政府との契

有似二個ギの政府借款をめぐる海

首脳相互訪問

椎名外相談

午後十一時十分、長野県軽井沢の佐藤首相は鄧遠のため二十二日

育相、軽井沢へ

7 8

・に課題」
・に課題」

合い、竹品など

王朝日記集唱

|・8巻/土佐・蚊蛤・麻泉大路・紫大路||・8巻/土佐・蚊蛤・麻泉大路・紫大路

一般にわたり文学者の立場からする評論七篇。

四大判力パー付・三五〇円かけに、最近一年間の政治・

筑摩書房/歌譜

て【評論集】

重中 治野

別邸にはいった。二十四日夕、帰

花·侍当 图 K 文 · 经络 的 力 图 K

数数

は休みました。

文庫クセジュ

聚剂器 白水 社 繁發器

生似を風味深く解明する来、19世紀に至る今古東、19世紀に至る今古東

他、諸協定の調団を終えたあとの 権名外相は二十二日、日 森条

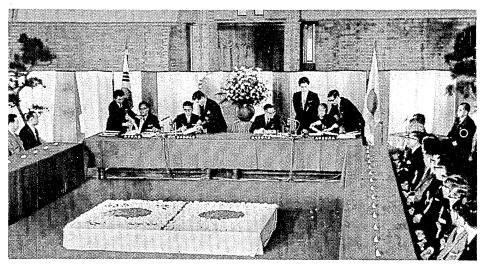
芸る昭和二十六年末から曲折を重ねてきた日韓交渉は終結、戦前の長い日本の別節納治と戚後の外交空古によっていびつな関係を全茂なくされていた日韓関係は

1965年06月23日

東京

朝刊 1 P

基本条約や四協定



サンダーチーフ機八磯は、

|発設によれば、米空軍のFIB | -フ機は同じ数の設備機とともに

ハノイ西北西百十三古のバンヌオ

| 野北に答ったものだった。 | |

十二字のととろにある。

【サイゴン二十二日発=AP】米年スポークスマンの二十二日の発表によれば、米空証機は同日、北ベトナムと中国の国境から自二

日本の本学を示してきるもの、たかしたからな情報に並延されるかりた。その方面をは 権名外籍、海杉首席代表。〇甲は立会いの佐藤首相、手前は赤いカーネーション と菊の花で作られた日・韓(左)両国の国旗 (首相官邸ホールで)

席代表、韓国側の李東元外移部長た。日本側の・植名外相、高杉首を登丘的から首相官邸で阻かれ

批准国会で対決

政府は自信、社党も強硬

の配向国会の日取りについては、「「日融国会」を明きたい考えを示「党内の大勢で、「日融国会」の召」る考えであるの決談を表現したが、抽催のため。として日を配かないで八月末にも、いうのが田中弥事兵をほじめ自民 | 月と見込んで在手続きをすみやかに通める」と は、参院選挙扱の臨時国会談予扱、しといった形は好ましくない、と い。衆参博覧を訴予報。しといった形は好ましくない、と い。衆参博覧の正確的は「十二日「今後、拙」の本省「好表"は20日相側近の間で、していたが、真夏の国会のぶっ述」集は結局、 社に経営相は「十二日「今後、拙」の本省「好表"は20日相側近の間で、していたが、真夏の国会のぶっ述。集び結婚し、社 していたが、真豆の国会のぶっ面 | 集は結局、九月になる公算が大き

民社党が批准に基本的に登成しているとはいえ、社会党、総評などは一層強い限度で政府、与党に対決しようとしている。

たととがある

東京都池区東麻布1丁目4の4 TEL 東京 (583) 6018・5931

理工学社

建築設計製図便覧

家の

設計

図集

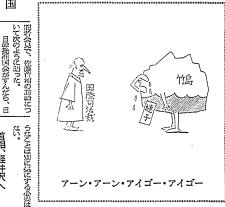
の関係で、竹島を自動で共行したら、との語が出ている」と言いたら、との語が出ている」と言いしたといい、「足して二で間らな」とがいい、方島間のないのからとでするのだ。 日本海に呼ぶ小島とが、との別域はきまらず、正式調印のあとにタナ上げされてしまったが、世間の合とを対して「竹島町行に四数のとと様子は、竹島が日本の領土である様拠を具体的に示している。

1 (図画域の吹奏のあと、弦杯によっ かずるむねのあいなつを述べ、両 迎ずるむねのあいなつを述べ、両 約。した関係文書は、条約一、協なお、日韓会談の結果を『集 社会戲評

安部公使、延河屯(ヨン・



| 書館一件の計二十一件を決定し|



〈本日16ページ〉 特集

新内部の事情

方向を打出してはつくすが、抵 収組み方を校

岩 波

J・R・ヒックス著

安井琢磨・熊谷尚夫訳

「価値と資本」はケインズ「一般理論」と並ぶ取「価値と資本」はケインズ「一般理論」と並ぶ取 《岩波現代叢書》 全一巻(中)……の月刊行子足 〈岩波現代叢書》 全一巻(中)……の月刊行子足 〈岩波現代叢書〉

I

五〇日 東京神田一ツ橋 / 振替東京 26240

原則・善悪を超えた非情の経営学グ

経

鈴木善治著 価 320円〒50円 大坡刷出来(第十刷)

2-24振符東京1654257

573 (C)朝日新聞社 朝日新聞クロスサーチ・フォーライブラリー 本サービスとその収録内容にかかる著作権その他一切の権利は、朝日新聞社または各権利者に帰属します。無断転載など権利侵害となるご利用はお断りします。 Copyright (C) The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

ご注文は

な店へ/目録送量

東京文京区原町12 振替東京3467